

報告書

Drug Delivery Australia 2025 におけるポスター発表

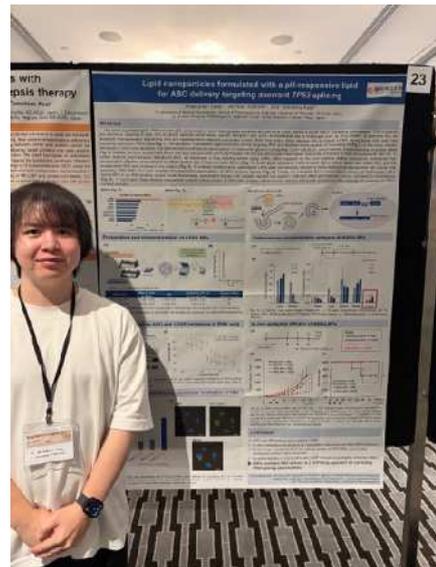
私は、2025年11月17日および18日にオーストラリア・シドニーで開催された Drug Delivery Australia 2025 に参加しました。本学会は薬物送達システム（DDS）をはじめ、バイオマテリアルやナノメディシンなどの分野を中心に、オーストラリア国内外から多くの研究者が集まり、最新の研究成果について活発な議論が行われる国際学会です。

本学会において私は、「Lipid nanoparticles formulated with a pH-responsive lipid for ASO delivery targeting aberrant TP53 splicing」というタイトルでポスター発表を行いました。初めての国際学会であったため、発表原稿の作成に加え、発音や説明の流れについても入念に準備を行い、発表に臨みました。発表では、事前に準備していた内容を落ち着いて説明することができました。一方で、質疑応答の場面では、英語のスピードや多様な表現に対応しきれず、自分の考えを十分に言語化できない場面もありました。しかし、質問者が私の意図を汲み取りながら対話を進めてくださったことで、質疑応答を通して研究内容に関する意見交換を行うことができました。同時に、研究者として英語でのコミュニケーション能力の重要性を強く認識しました。

講演セッションでは、脂質ナノ粒子をはじめとする自身の研究に近い分野から、これまで馴染みのなかった分野に至るまで、幅広い講演を聴講しました。最新の研究に触れることで、今後の研究活動を考える上で有意義な機会となりました。

今回の国際学会参加を通じて、研究内容を発信することの重要性とともに、英語での議論を通じて研究を深めていく姿勢の大切さを学びました。この経験を今後の研究活動および語学学習に活かし、より質の高い研究成果の創出につなげていきたいと考えています。

本発表にあたり、大学院学生国際学会発表支援事業の支援を受けました。ここに深く感謝申し上げます。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻
博士前期課程2年 医薬生命化学講座
齊藤 克典